



HANZŌ

アセンブリーマニュアル

HANZŌ



Hanzo Manual

はじめに

FACTOR製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。以下の手順を十分に確認し、正しい作業と使用のためにそれらに従ってください。以下の指示と警告に従わない場合、製品の損傷、自転車の損傷、および深刻な状況での怪我や死亡の原因となる可能性があります。

適切な組み立てには、特定の工具と自転車のサービス経験が必要であるため、資格のある自転車整備士が製品を組み立てることをお勧めします。FACTOR BIKESは、製品の不適切な組み立てや取り付けによる損傷やけがについては責任を負いません。

完成車およびフレームセットの限定生涯保証

以下の制限、規約、条件に従い、Factorは、最初の所有者に対して一生限、新しいFactor完成車またはフレームセットのそれぞれに材料や仕上がりに欠陥のないことを保証します。

生涯限定保証は、自転車が通常の状態で作動および使用されることを条件とし、所有者のハンドブック (Factor完成車に付属) に従って適切にメンテナンスされることを条件とします。

この生涯限定保証は、塗装/仕上げ、通常の消耗と見なされるFactorコンポーネント、完成車やフレームセットに取り付けられているホイール、ドライブトレイン、ブレーキ、サスペンション関連部品やコンポーネントなどのサードパーティコンポーネントには適用されません。

通常の摩耗の影響を受けると考えられるすべてのFactorコンポーネントは、1年間の限定保証の対象となります。この限定保証の期間は、お客様が自転車を所有した日から1年間とします。

通常の摩耗の影響を受けると考えられるFactorコンポーネントは、完成車に付属の技術補足書やユーザーマニュアルに記載されています。Factorの完成車に含まれている、または取り付けられているすべてのサードパーティ製コンポーネントは、製造元が指定するとおり、それらのコンポーネントに適用される製造元の保証の対象となります。

追加条件: この生涯限定保証は、この新しいFactor完成車またはフレームセットの最初の所有者に対してのみ行われ、最初の所有者がFactor完成車の所有権を保持している間のみ有効です。この生涯限定保証は譲渡できません。

FACTORの限定生涯保証の資格を得るには、www.factorbikes.comにアクセスして、ご購入から15日以内に製品を登録してください。

完成車を贈り物として購入した場合、贈り物の最初の受取人は、この生涯限定保証のための最初の所有者であると見なされます。

この生涯限定保証に基づくあなたの権利を行使するために、完成車またはフレームセットは、領収書や、販売請求書や、またはシリアル番号によって完成車またはフレームセットを特定するその他の適切な購入証明とともに、Factorまたは認定されたFactorの販売店に提示する必要があります。

除外と制限:

上記の保証、または暗黙の保証には、以下は含まれません:

使用国で適用される可能性のある特定の国の法的要件に準拠するために必要な変更を除いて、元の状態からの変更。

通常の消耗。

自転車の異常で且つ営利目的の使用、または自転車本来の用途以外での使用。取扱説明書に従わないことによる損害。

以下のような結果として生じた塗装仕上げとデカールの損傷：通常の消耗、競技への参加、ジャンプ、ダウンヒル、および/またはそのようなイベントのトレーニング、または厳しい条件や気候に自転車をさらしたり、自転車に乗ったりした結果。

完全なまたは一部分の交換、修理、返却、切り替えにかかる労働および/または輸送料金。

事故、放置、不適切な取り扱い、乱用または故意の損傷、誤用、不適切な組み立て、および本来意図されていない、または自転車と互換性のないデバイスまたはコンポーネントの使用。

お客様、またはFactorの認定修理業者ではない第三者による変更または修理。

お客様によって提供された任意の仕様。救済：特に明記されていない限り、上記のFactor保証または暗黙の保証に基づく唯一の救済は、Factorの独自の裁量による同等以上の価値のある欠陥部品の修理または交換に限定されます。

この救済措置を除き、契約、保証、過失、製造物責任、またはその他の理論に基づくかどうかにかかわらず、人的傷害、物的損害、または経済的損失の損失または損害を含むがこれに限定されない、直接的、偶発的、または結果的な損失または損害について、Factorは責任を負わないものとします。

この限定保証は、Factorの過失または法律で除外または制限できないその他の責任によって引き起こされた死亡または人身傷害に対するFactorの責任を除外または制限するものではありません。あなたが使用者でなければ、Factorは明示的または黙示的を問わず、その他の保証を一切行いません。商品性、合理的な注意、特定の目的への適合性の保証を含む、すべての黙示の保証はここでは否認されます。

その他：

Factorが裁判で勝訴した場合、所有者の請求を弁護するためにFactorが被った弁護士費用および訴訟費用を含む費用をFactorに払い戻すことに同意するものとします。

購入した国以外で行われた申し立てには、追加料金と制限が適用される場合があります。

保証の詳細と期間は国によって異なる場合があります。この保証はあなたに特定の法的権利を与えます、そしてあなたは場所によって異なるかもしれない他の権利を持っているかもしれませんが。この保証はお客様の法的権利には影響しません。

この保証声明が現地の法律と矛盾する場合、この保証はそのような法律と矛盾しないように変更されたものとみなされます。このような法律の下では、特定の免責事項および制限がお客様に適用される場合があります。

一部の州および国では、付随的または結果的損害または保証の除外または制限を許可していないため、上記の制限または除外が適用されない場合があります。

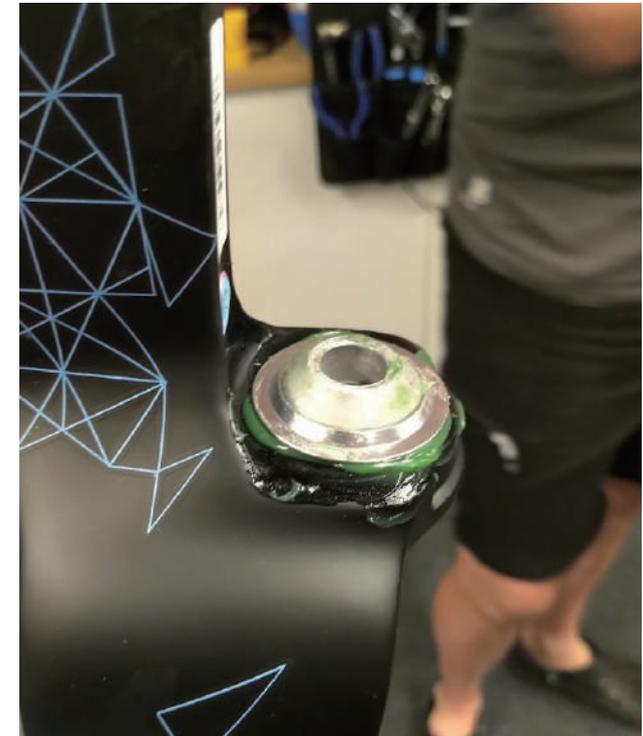
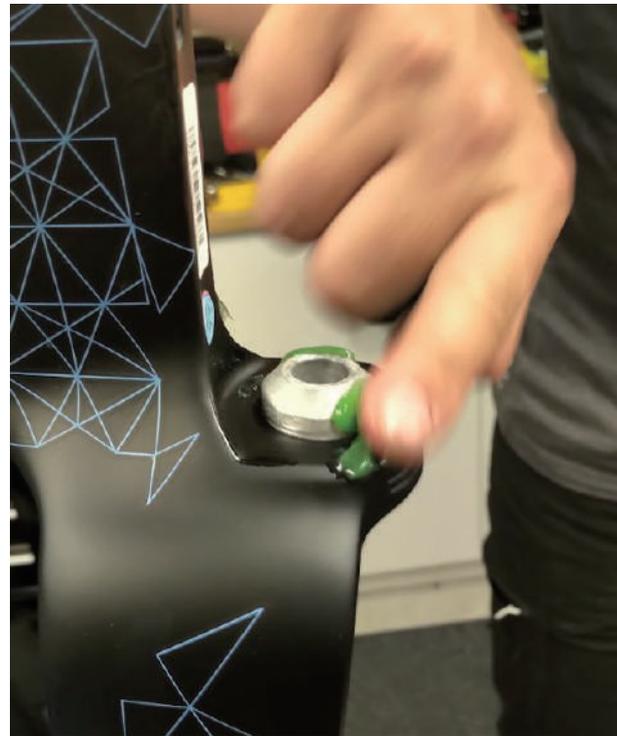
管轄裁判所により、この限定保証の特定の規定が適用されないと判断された場合、かかる決定は、この限定保証の他の規定に影響を与えず、他のすべての規定は引き続き有効であるものとします。

この限定保証の英語版が優先されます。

この限定保証は、欧州連合と米国の法律に準拠し、欧州連合と米国の裁判所は、この限定保証またはその主題または構成(非契約紛争または主張を含む)に起因または関連して発生する紛争または請求を解決するために非独占的管轄権を有するものとします。

フォークの取付け

- Hanzoフレームは、1インチの上下ベアリングを、フォークにねじ込むテンションロッドと組み合わせて使用し、ベアリングを保持します。
- 最初にテーパリングをフォークに取り付ける必要があります。必ず両面にグリスを塗ってください。
- これはフォークに圧入する必要があります。テーパリングを切断しないでください。



フォークの取付け

- 上部と下部のベアリングにグリースを塗り、取り付けます。
- スプリットリングを上部ベアリングに入れて、もう一度たっぷりとグリースを塗ってください。
- テンションロッドにグリースを塗って挿入し、フォークが自由に回転できる位置よりもう少し締めます (少し締めすぎます)。



Di2ワイヤーのフレームルーティング

- この時点で、他のコンポーネントを取り付ける前にフレームに配線するのが最も簡単です。
- SPバッテリーワイヤーを緩めたまま、通常どおりDi2ワイヤーを配線します。
- アクセサリと配線の特定の配置についてメカニックと話し合います。使用可能な部品と特定のセットアップに応じて、図のようにBBに2つ目のJC41を使用するか、他の配置を使用することをお勧めします。



シートポストの取付け

- シートポストの最小挿入の深さは80mmです。
- この時点で付属のラバーマウントを使用してDi2バッテリーを取り付け、シートチューブのDi2ワイヤーに接続します。
- ラバーSPガスケットをシートポスト上にスライドさせます。
- GF強化SPクランプをフレームに挿入し、カーボンペストを使用して所定の位置に固定します。
- シートポストにカーボンアセンブリコンパウンドをたっぷり塗布し、フレームに挿入します。
- シートポストクランプを6Nm (最大8Nm) で締めます。



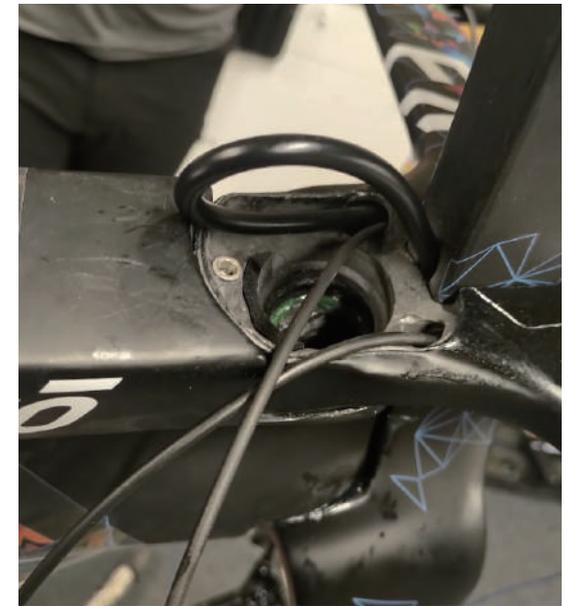
ベースバーの取付け

- 注意: ベースバーを取り付ける前に、最初に配線する方が簡単な場合があります。その場合は、次のページに進んでください。
- アセンブリコンパウンドをウェッジに塗布し、留め具にグリスを塗布して、ベースバーウェッジを準備します。
- ベースバー保持用の3つのウェッジと1つのステアリングロックがあります。
- アセンブリコンパウンドをベースバーにたっぷり塗布し、フォークマストとテンションロッドの上部にそっとスライドさせます。
- マストウェッジ (2x) を (5Nm) -8Nmで締めます。
- フロントクランプを (5Nm) -6Nmで締めます。
- テンションロッドを保持している2つのバレルナットを (5Nm) -6Nmで締めます。バーを左から右に回転させて留め具にアクセスします。



ベースバーの配線

- スプリントシフターなどの非典型的なDi2配線については、整備士に相談してください。バーエンドごとに複数のワイヤーが必要になる場合があります。
- 油圧ホースを配線する前に、Di2ワイヤーをバーの中央部分まで引きます。
- 通常は、油圧ホースをステム/ベースバーに通し、バーエンドまで伸ばす方が簡単です。
- よじれないように細心の注意を払いながら、油圧ホースをベースバー/フォークの合わせ目の中心から輪を描いて戻します。この“輪を描く”ことは非常に重要であり、細心の注意を払う必要があります。“輪”が作成されたら、ベースバーの空いているスペースにそっと押し込み、組み立て工程の後半でカバーを取り付けます。



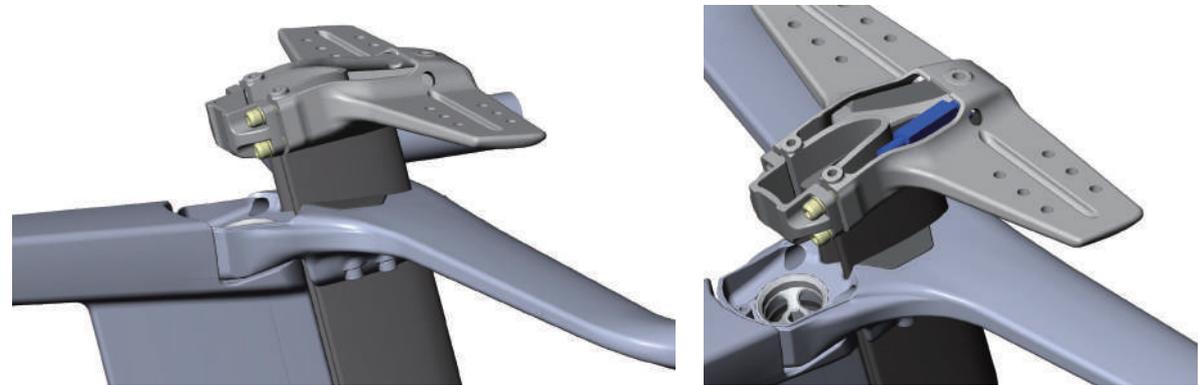
ベースバーの配線

- この時点で、内部配線キットを使用してDi2ワイヤーとリア油圧ホースをフレームから引き上げるのが最も簡単であることがわかります。
- 注意:この時点で、ホースとワイヤーがテンションロッドを越えて通過するため、前もって負荷をかける能力が低下し、回転する力が制限されます。この時点で、前輪と後輪を追加し、バーエンドに力を加え、ホイールとヘッドセットに前もって負荷をかけて、フレームを「振る」ことをお勧めします。その後、本締め・調整を行います。
- フレームからベースバーの空き容量にリアブレーキチューブを持ってきて、ベースバーを通してシフターに通すときは、ここでもリアブレーキチューブの半径に注意してください。



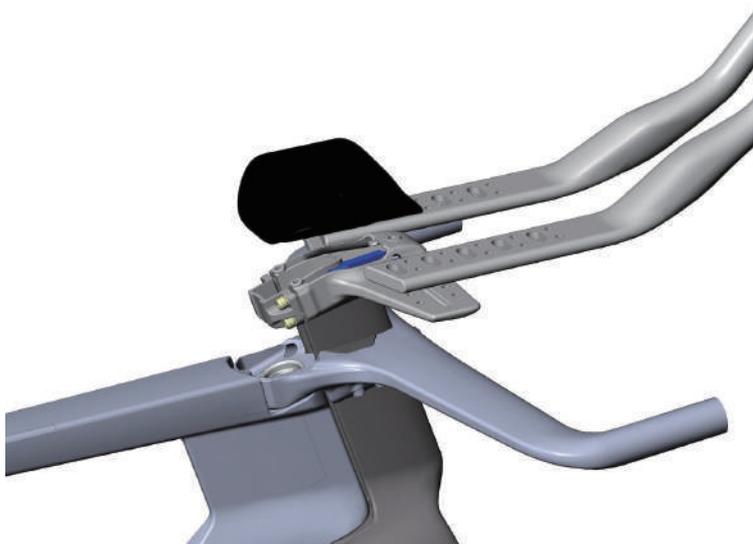
ユニバーサル エクステンション マウントの取付け

- すべての留め具にグリスを塗布し、リアクランプをアダプターに取り付けます。
- この時点で、Di2ワイヤーをブレーキレバー（Yケーブル）とフレーム（充電ポイントから来る）からmono-riserを通して簡単に引き上げることができます。
- エクステンションでの構成に応じて、JC41をマストに配置するか、オプションでユニバーサル アダプターに取り付けることもできます。



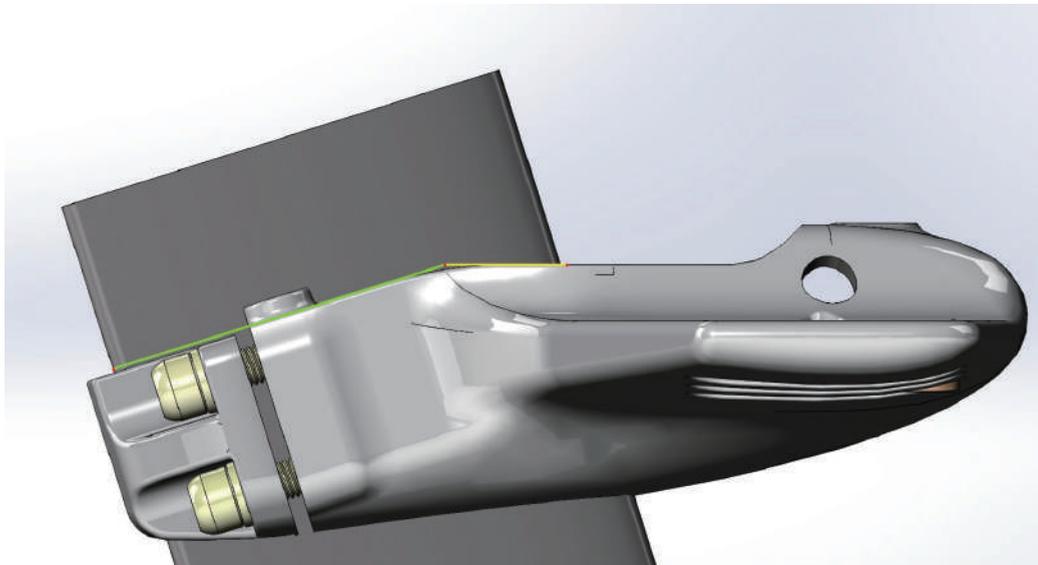
TT エクステンションのインストール

- エクステンションはどちらの端でもフィットするように切り揃えることができます。アルミがむき出しになるので、それらを切断する場合は、ボルト締め部の端を必ず面取りしてください。エクステンションの丸い端は7cmの深さまで続いています。これらを非常に短くカットする場合は、シフターの外径に合わせてエクステンションの内側を丁寧にやすりで丸くする必要がある場合があります。
- M5 ボルトをバーの下の接続ポイントに通して、エクステンションをベースバーにボルトで固定します。
- アセンブリコンパウンドがこの領域のすべての部品がはまり合っている、嵌合部品間に塗布されていることを確認します。
- アダプターのトルクは6Nm (最大8Nm) です。
- 肘パッドのバーへのトルクは4Nmです。



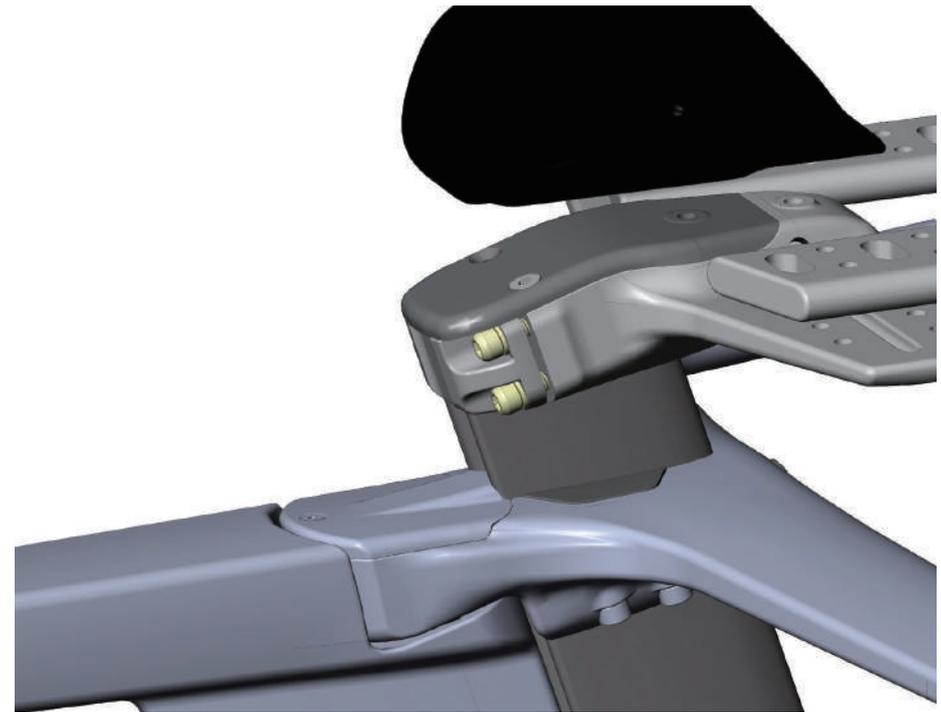
Mono-riserの切断

- 最終的なフィッティングが決定したら、モノライザーを切断して、エクステンションマウントキャップを取り付けられるようにする必要があります。
- 理想的な肘あてパッドのスタックを見つけてから、エクステンションマウントを緩めて、その高さから3mm下まで下げます。
- 緑色と黄色で示されている2つの軸に沿って細字で高さの印を付けます。必要に応じて、エクステンションマウントを取り外し、印を付け後で沿うようにするためステアラをマスキングテープで巻き付けることができます。
- 最初の切断は気流方向に対して垂直であり、これが真っ直ぐに行われるように細心の注意を払う必要があります。
- エクステンションマウントを外す。
- 鋭利な金ノコの刃を使用して、最初の切断を慎重に行い、2本の線が交差するところで止めます。



Mono-riserの切断

- 2番目のモノライザーの切断は、ステアラーの軸に対して垂直に行う必要があります。可能であれば、Park Tool SG 7.2切断ガイドを使用して行うのが最適です。
- 滑らかな面取りのために、エッジには軽くヤスリをかけます。
- 切断線のすぐ上にユニバーサルアダプターを再取り付けし、Di2ワイヤーがモノライザーに入るようにします。
- ユニバーサルアダプターのトッププレート/カバーを取り付けます。この時点で、ベースバーにもカバーを取り付けることができます。
- すべてのボルトに軽くグリスを塗る必要があります。
- ユニバーサルアダプターのトルク:3Nm (4Nm)
- ベースバーカバートルク:1Nm (手締め)

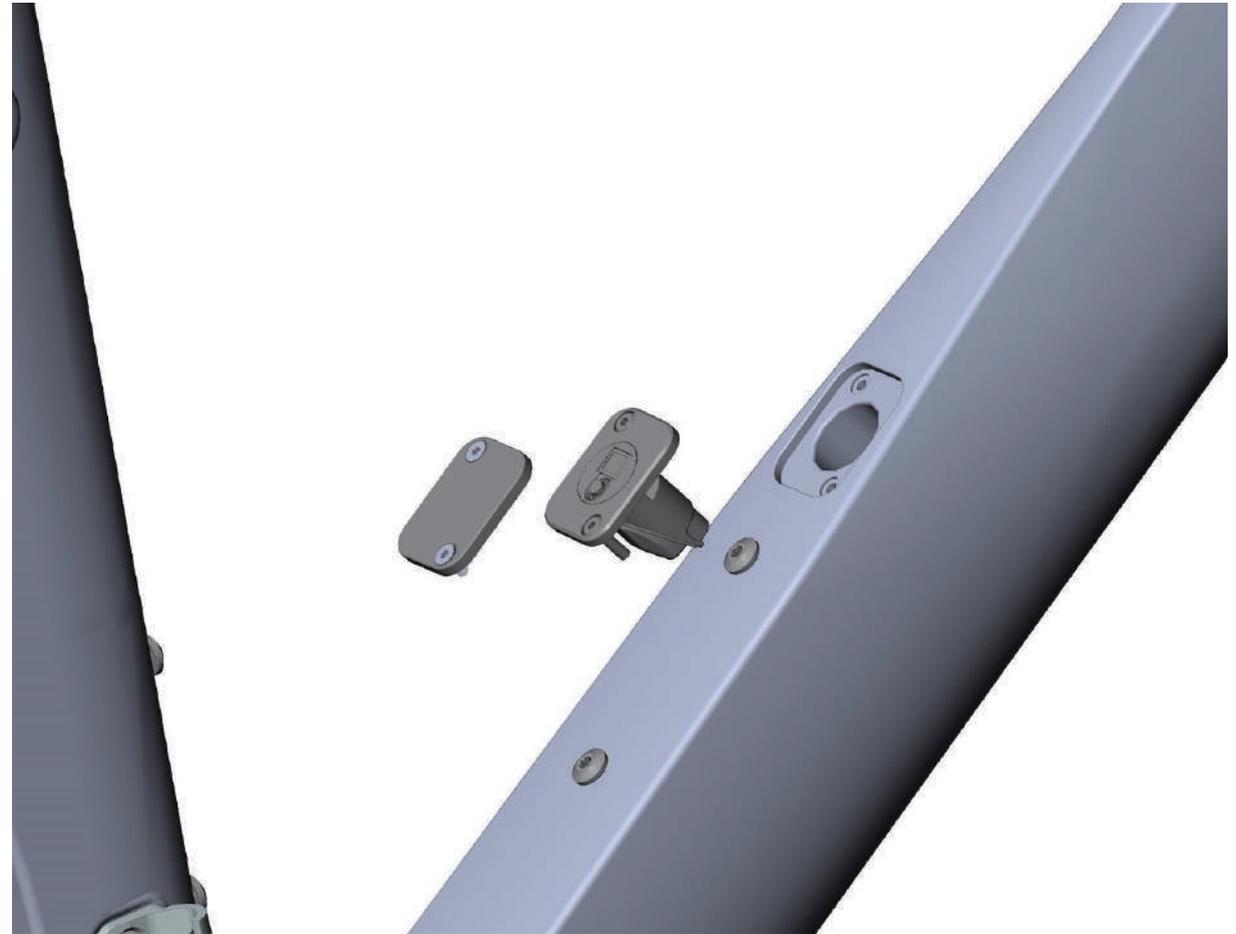


Di2ジャンクションの取付け

- ダウンチューブにDi2充電ジャンクションを取り付けるか、必要に応じて付属のブランキングプレートを取り付けます。
- すべてのボルトに軽くグリースを塗る必要があります。
- ボトルケージを取り付けるときは、このフレームが一度に1本のボトルのみを使用するように設計されており、ボトルがダウンチューブまたはシートチューブの低い位置に取り付けられていることに注意してください。

特定の水分補給の配置でどの場所がより良いパフォーマンスを発揮するかについては、パフォーマンスコンサルタントに相談してください。

- Di2ジャンクションのトルク:1Nm (手締め)
- ボトルケージボルトのトルク: (2Nm)-3Nm



フロントディレイラーマウントの取付け

- 付属のフロントディレイラーマウント、あるいは1x(フロントシングル)用にブランキングプレートのあるいずれかを取り付けます。
- この時点で、Di2/Sram配線用に適切なグロメットを取り付けます。
- ボルトに軽くグリスを塗ります。
- フロントディレイラーマウントボルトを3Nmのトルクで締めます。

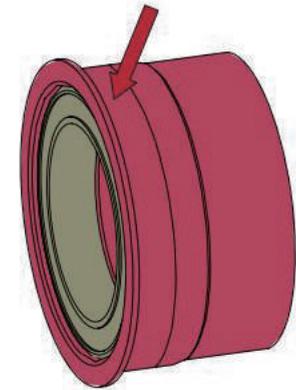


BBの取付け

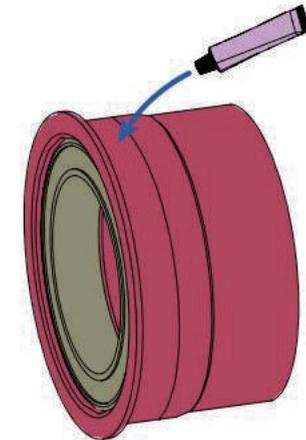
- Hanzoフレームは、BBright (シェル幅79mm) からアレンジされたPF BBCorrect (シェル幅77.5mm) 規格と互換性があります。
- BBを取り付ける際にはLoctite641を使用し、高品質のボトムブラケット圧入取り付けツールを使用する必要があります。



フレームのボトムブラケット内側とボトムブラケットカップをイソプロピルアルコールで拭いてきれいにします。



両側のボトムブラケットカップの溝にLoctite641を塗布します。



リアディレイラーハンガーの取付け

- HanzoフレームにはFactorのフローティングリアディレイラーハンガーが装備されています。
- リアディレイラーハンガーの固定ネジを締める前に、ホイールを逆にしてアクスルを取り付けます。これにより、ドライブ側と反ドライブ側のドロップアウトとスルーアクスル自体が整列します。
- すべてのねじ山とアクスル自体にグリースを塗ります。



